

みんなが楽しんでみをつくりだす村

自然と文化を守る 人と地域をつなげる

令和5年度二十歳を祝う会 ～懐かしい再会でした～

8月15日、二十歳を祝う会（旧 成人式）が、37名の出席のもと若者センターで開催され、村長をはじめ中学時代の恩師から心のこもったエールが送られました。



丸山永遠さん

【実行委員長挨拶】（一部抜粋）

私は、現在ここ木島平村で農家をしています。今私が楽しく仕事が出来ているのも、若者を受け入れ暖かく見守ってくれている地域の皆様のおかげで、こんなに素晴らしい場所はなかなかないと思います。

私たちは「二十歳」という大きな節目を迎えましたが、社会人としてはまだまだ未熟です。そして、皆、さまざまな状況です。それぞれ方向性は違いますが、ひたむきに努力し、木島平村で過ごした日々で培った力を糧に精進して参りたいと思います。

【令和5年度二十歳を祝う会 出席者】

石川 日葉里 / 尾澤 里奈 / 小野澤 怜 / 嘉部 竜一 / 柵原 京 / 倉科 美空 / 栗林 侑希 / 桑原 裕馬 / 小林 萌々香 / 小松 陽 / 小松 廣務 / 佐藤 柊 / 高橋 健太 / 宝井 悠 / 竹内 怜 / 武田 菜緒 / 田中 さやか / 土屋 秀斗 / 西澤 華菜 / 西澤 くらら / 萩原 美帆 / 長谷川 水風萌 / 林 柚希 / 樋口 乃斗 / 藤原 永羽 / 丸山 永遠 / 村松 賢 / 室賀 美里 / 持田 きり / 本山大雅 / 本山 雄大 / 安田 楓花 / 山崎 愛里 / 湯本 明莉 / 湯本 美桜 / 芳川 琉惟 / 芳野 夏実 以上37名（敬称略）

発行：木島平村公民館
編集：公民館報編集委員会
住所：長野県下高井郡
木島平村大字上木島1762
TEL：0269（82）2041
FAX：0269（82）4020
E-mail：
kouminkan@vill.kijimadaira.lg.jp

第39回夏まつり、4年ぶりの開催でした

4年ぶりに開催された夏まつり、今回は、これまでとは趣を変えた開催でした。

前段では、下高井農林高校生と中学生がリーダーとなつてのバンブーキャンドルづくり、育成会による輪投げや射的などがありました。楽しい工作や遊びに参加者は夢中でした。

オープニングイベントでは、放送機器がダウンしてしまい、

多くの皆様に大変ご迷惑をおかけしてしまいました。誠に申し訳ありませんでした。このようなか中で、踊り切つたダンスチームには、感嘆の声と共に温かい拍手が送られていました。

盆踊りは、調布市からお越しにいただいた皆さんとともに楽しく踊り、出店にも多くの人が集まり、賑わいの夏まつりでした。



バンブーキャンドルづくりは大人も夢中



遊びに真剣な子どもたち



RI・ZU・MU (リズム)



からす踊り



Beat☆Herts (ビート☆ハーツ)



調布音頭



Pua Kiele (プア キエレ)



にぎわいの夏まつり



有終の美を飾る

今月の「きじま平再発見」は、紙面の都合でお休みします。

雑魚川シャワーウォーク

今年も大自然を満喫しました

社会教育関係団体「木島平自然学校」の皆さんのお力をいただき7月29日に実施されたシャワーウォークは、川歩きから崖を登る場面があったりとバラエティに富んだコースでした。

途中、カモの群れに遭遇したり、珍しい青色の蝶に出合ったりで、参加者はカメラを手に大喜びでした。

雑魚川は、グリーンタフという大きな岩盤の上を流れています。そして、その岩盤が長い年月で削られ、日常の世界では目にするものがない景色を作り出しています。

ハーマニカの滝では、普段の滝のイメージと全く異なる姿に、感動の聲が上がっていました。



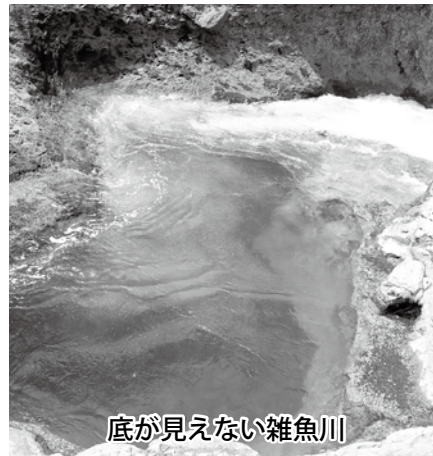
おおぜん
誰もがシャッターを切る大滝



木漏れ目の中を歩く参加者



グリーンタフの上を歩く参加者



底が見えない雑魚川

土器づくり実験講座 ～新たな焼き方に挑戦しました～

今年も、新たな焼き方にも挑戦しました。一つは炭素吸着という七輪で加熱した土器をもみ殻の中に入れて炭素と反応させて黒色の土器にする方法、もう一つは還元焼成という七輪を密閉して酸素を奪い白色の土器（三韓土器と同じもの）にする方法でした。

大人から小学生という幅広い参加で、参加者は個性ある作品を作り出しました。ドライヤーで空気を送った七輪は思いのほか高温になり、フライパンの底が溶け落ちてしまいました。皆、驚きの声を上げていました。



壺の土器に挑戦



ドライヤーで空気を送る焼き締め



炭素吸着の作業



参加者の作品（右：炭素吸着後の作品）



高温で溶け落ちたフライパン

木島平チーム、知事杯争奪長野県ゲートボール選手権大会で準優勝

7月30日、諏訪市スポーツ広場において第38回知事杯争奪長野県ゲートボール選手権大会が開催され、県下各地区の代表56チームが14コートに分かれて熱戦が繰り広げられました。本村からは、木島平チーム（白川淳、小林和斗、高藤崇夫、阿部弘、内川啓江）が出場しました。



木島平チームは、1コート4チームによる予選リーグ3試合を勝ち上がり、決勝トーナメントに進みました。酷暑の中、いずれも接戦であった3試合をチームワーク良く勝ち抜いて決勝まで進みました。決勝戦では惜しくも松本市のチームに敗れたものの、準優勝という栄冠を手に入れました。



図書館だより

今月の一冊

公民館図書委員(ちっちゃな図書館) 芳川 桃

ある朝、ジムが目覚めると窓の外にのっぼの木が生えていました。昨日はなかった木がどこまで伸びているか気になったジムは、その木を登り始めます。

木は空まで続き、雲の上まで伸びていました。登りきった先にはお城があり、年老いて目が悪くなった大男が住んでいました。話を聞くと、ジャックという名の男子を知っているようです。…とここまでで察した方、そのとおり。この絵本はイギリスの童話「ジャックと豆の木」を元に創作された物語です。

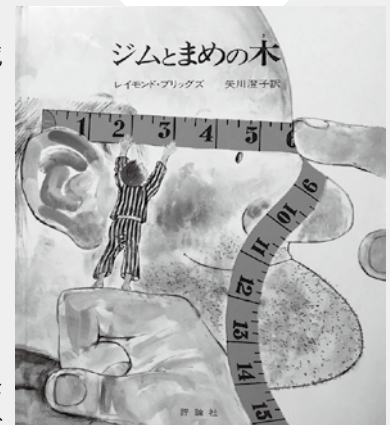
作者は「スノーマン」でも知られるレイモンド・ブリッグズ。絵や語り、登場人物たちはユーモアにあふれて楽しく描かれています。

大男の悩みにジムが助言をすると、大男は「そいつだ！そいつをもってきてくれ」とおつかいを頼みます。ジムは豆の木でお城と地上を行ったり来たり買い物へ、その度に大男から預かった大きな金貨の輝きに母親は腰を抜き、お店の人はびっくり仰天。この場面が特に楽しいのでぜひ絵本で。さて、ジムは大男の悩みを次々と解決し、大男はすっかり若返り元気に。なんだかお腹もすいてきたような…。

始めから最後まで大人も楽しめる絵本です。ちょっとした息抜きにもいかがでしょうか。

「ジムとまめの木」

作:レイモンド・ブリッグズ



★新着図書★

- ギリシャ神話の教科書 (東ゆみこ) 今日からはじめるやさしい手話 (全日本ろうあ連盟) ひとつひとり (東直子)
- なぜ、その地形は生まれたのか? (松本穂高) 文系でも思わずハマる数学沼 (鶴崎修功) 獣の夜 (森絵都)
- おかげで、死ぬのが楽しみになった (遠末真幸) ハンチバック (市川沙央) リラの花咲くけものみち (藤岡陽子)
- ぼくはあと何回、満月を見るだろう (坂本龍一) 起立性調節障害お悩み解消 BOOK (吉田誠司) 未明の砦 (太田愛)
- 槍・穂高・上高地地学ノート (竹下光士・原山智)

★児童図書★

- あてっどうぶつずかん だれ (あべ弘士) 大人も知らない? サバイバル防災事典 (サバイバル防災研究会)
- うまれてくるよ海のなか (高久至・かんちくたかこ) 鳥のしぐさ・行動よみとき図鑑 (小宮輝之)
- 農業をささえる生きもの図鑑 (谷本雄治)



ちっちゃな図書館

往郷911-7若者センター内 ☎82-3111(内線206) 月曜日休館
開館時間・平日9時～17時45分／土日祝8時30分～17時15分



社協だより

No.356

さわやか笑顔さん



小林 初枝さん(左)
(内山)

山崎カツ子さん(右)
(小見)

社協の介護予防事業に参加しています。普段、なかなか会えない方とも、会える“場”ができて嬉し
いです。

発行：社会福祉法人
木島平村社会福祉協議会
住所：木島平村大字往郷908-3
TEL：0269(82)4888
社協ホームページ
<https://sites.google.com/view/kijima-syakyo/>

多世代交流を開催



8月9日、4年ぶりとなる多世代交流を若者センターにて開催致しました。今年度は、介護予防教室ピースとの合同開催とし、小学生から高齢者まで幅広い世代にご参加いただきました。今回は、アロマキャンドル作りを通しての交流に取り組みました。クレヨンを削り、ロウソクと一緒に溶かすことで好きな色のキャンドルが完成。溶かした口



ウソクが乾く前に、アロマオイルを加えることで、香りの良いアロマキャンドルが出来上がります。子どもたちだけでは難しい作業も保護者の方やピースに参加する皆さんと協力し合うことで、思い思いのキャンドルを作ることができました。

キャンドル作り以外にもピースで取り組む体操を行いました。他にも、ゲームでは子どもから大人までが一緒に盛り上がる交流ができました。



北信ブロック福祉体験教室

8月7日、福祉体験教室北信ブロック全体会が野沢温泉村公民館で開催され、北信地域6市町村の小学生・中学生・大人17名が参加しました。

“まもるいのち ひろめるぼうさい” 日本赤十字防災教育プログラムの映像を



見ながら、グループで話し合いや意見交換を行い、将来起こる自然災害に対して正しい知識をもち、自ら考え判断し、危険から身を守る行動を学ぶきっかけとなりました。



村ぐるみ防災訓練

8月27日に実施された「村ぐるみ防災訓練」にあわせ、日赤奉仕団でも訓練に参加しました。

今回、4年ぶりとなる訓練でしたが、団員の協力を得て無事訓練を行うことができました。

○日赤奉仕団「炊き出し訓練」

村体育館前にて、包装食袋（ハイゼックス）を使った、炊き出し食を約140食作りました。



希望の旅

参加者募集

じよんのび

普段出かける機会の少ない障がいのある方や介護が必要な方、一緒に出掛けませんか。

今年度は、日帰り温泉旅行として、「北志賀竜王 ホテルタガワ」へ出かけます。

とき：11月3日（金）10:00～14:30

ところ：北志賀竜王 ホテルタガワ

参加費：一人2,000円

対象者：村内在住の身体障がい者（3級以上）

知的障がい者（療育手帳）

精神障がい者（保健福祉手帳）

介護保険要介護度2以上

付き添い：介護者・ボランティア

申し込み〆切り：10月16日（月）

申込み・問い合わせ：

社会福祉協議会 電話82-4888



居宅介護支援事業所とは

介護支援専門員（ケアマネージャー）がいる事業所です。
ケアプランの作成や必要なサービスの調整・相談等行っています。

居宅介護支援の流れ

①初めて介護保険のサービスを利用する場合は、役場民生課健康福祉係（地域包括支援センター）にご相談ください



②介護支援専門員が自宅を訪問し、ご本人・ご家族の状況や希望をお聞きします。



③ケアプランを作成し、介護サービスの調整や連絡を行います。



⑥月に一度は自宅を訪問し、状況の確認、サービス内容を見直し・検討します。



⑤サービスの利用が開始されます。



④サービス事業所との顔合わせ（担当者会議）を行います。

地域の千力 大豆育成ボランティア

木島平小学校2学年の児童 38名と地域住民とで大豆作りに取り組んでいます。



きっかけは、担当の先生から「地域住民の方と一緒に取り組むことができないか」と社会福祉協議会にご相談いただいたことからでした。

相談を快く引き受けいただいた、住民の方と大豆の定植を行いました。

児童が夏休みに入った後も、畝上げなどの必要な工程に取り組んでいます。

夏休み後の学習の中で、どんな作業がなぜ必要かをみんなで作る機会を持ちたいと考えています。



今月のふれあいランチ

第2、4水曜日、地域ボランティアの協力により配食サービスを行っています。

1食：400円
昼食(11時～12時の間にお届けします)

栄養豊富な、手作りお弁当はいかがですか？

ご利用を希望される方は、木島平村社協 尾澤までご連絡ください。調理にご興味のある方、配達にご協力いただける方、是非ご協力ください

対象となる方は右記のとおりです

- ・一人暮らしの高齢者（障がい者）
- ・高齢者（障がい者）のみの世帯
- ・昼間高齢者（障がい者）のみとなる世帯



【8月9日】
・パノラマランド木島平 お弁当
地元業者にもご協力いただいています。地域福祉のためにと、献身的に取り組んでいただいています



【8月23日】
・混ぜご飯 ・塩鮭の焼き物 ・芋フライ
・ズッキーニのさっぱりポン酢・味付け卵
・わかめとカニカマの炒め物 ・ミニトマト

社協の予定 9/15～10/31

9/20(水) ○無料法律相談＜予約制＞（相談員…長野県弁護士会派遣弁護士）
○安心買い物ツアー

9/27(水) ○集まろう！通いの場「ピース」
○ふれあいランチ

10/4(水) ○心配ごと相談（相談員…行政相談委員、民生児童委員）

10/11(水) ○集まろう！通いの場「ピース」
○ふれあいランチ

10/18(水) ○安心買い物ツアー



10/25(水) ○ふれあいランチ

10/26(木) ○集まろう！通いの場「ピース」



10/28(土) ○ふれあい広場

あたたかい善意

洋裁材料…匿名

この他にも、たくさんの方から介護用品や食材のご寄附をいただきました。

皆さまからのご厚意に感謝いたします。



人の動き

9月掲載承諾分

※氏名の一部に常用漢字を使用・敬称略で記載

おしあわせに

| 届出日 | 氏名 | 出身地区等 |
|------|----------------|------------------|
| 8.20 | 片桐 優太 芳川 亜紀 | (野沢温泉村) (上千石) |

こんにちは赤ちゃん

| 誕生日 | 集落 | 氏名 | 父・母 |
|------|-----|-------|---------|
| 7.29 | 部谷沢 | 佐藤 瑠珂 | (亮・渚) |
| 8.16 | 南鴨 | 小林 滯青 | (憲和・千佳) |

ごめいふくをお祈りします

| 亡くなられた日 | 集落 | 氏名 | 年齢 |
|---------|----|-------|------|
| 8.20 | 高石 | 田中 邦雄 | (66) |

木島平村とLINE でつながりませんか

【登録者数 1,500人突破！】

村の防災や子育て、イベント情報などホットな話題を迅速にお届けします。



眞篠 睦くん

令和3年6月21日生まれ
(中町区 / 祐一さん・幸子さん)



時計と神社に興味があり、トランポリンでお姉ちゃんと一緒に遊ぶのが好きな睦くん。お箸を使って食べられるようがんばっています。

2歳くらいのお子さんを大募集！掲載されたご家庭には、ふう太ネットでの放送を収録したDVDまたはBDのどちらか1枚と広報誌3冊をプレゼントします。詳しくは政策情報係（内線114）までご連絡ください！

世帯と人口

9月1日現在
(令和2年国勢調査に基づく推計値)



1,535 (+1)



2,024 (-4)



2,156 (-3)



4,180 (-7)

地球沸騰化

村長ひとこと(9)

最近「信州から考える世界史」という本をいただきました。根塚遺跡の鉄剣の記述があり、届けられたものと思います。

その中で長野県内には縄文時代の遺跡が3000余もあるということで調べてみました。縄文中期、日本の人口は約26万人ですが、人口密度が一番高かったのは長野県周辺のようなようです。クリやクルミが豊富で、縄文人にとって暮らしやすかったのでしょう。それが縄文末期には気候変動で地球全体が寒冷化して人口が急減し、人口は約8万人に減りました。山の実や狩猟だけで生きるのが大変だったのでしょう。

しかし、寒冷化は他にも大きな変化をもたらしました。北極などが凍り、海面が後退して農耕に適した平坦な陸地が現れました。また、稲作技術を持った渡来系弥生人が適地を求めて南下して日本へたどり着きました。縄文人とどう関わったのか詳しく分かりませんが、数百年かけて稲作文化の広がりとともに今の日本人が形成されたようです。縄文末期、長野県周辺の人口も減少しますが、稲作が始まり食料を自給できるようになった弥生時代にはまた人口密度は増していきます。その頃から稲作には適していたのかもしれない。気候変動で人口が3分の1にまで減少するという大きな試練を乗り越え、命を受け継いできました。もちろん、この気候変動は人間によるものではありません。地球沸騰化の時代と言われ、世界的に観測史上もっとも暑い夏、農作物にも大きな影響を与えています。そんな中でも、命と健康、そして旨い米の産地を守っていかなければなりません。

木島平村長 日暮 正博